

株式会社 東京穀物商品取引所
2012年5月中のサーキットブレーカー(CB)の運用について

2012年4月26日

2012年5月中におけるCBの当初値幅およびCB発動時の運用については、次のとおりとする。

I. CBの当初値幅等について

商品名	当初値幅 (=拡大値幅)	備考
コメ	300円	
とうもろこし	1,000円	
一般大豆	2,000円	
小豆	350円	
アラビカコーヒー生豆	1,400円	
ロブスタコーヒー生豆	1,400円	
粗糖	2,000円	

II. CB発動時の運用について

1. コメ、小豆を除く商品の運用

(1) 1回目及び2回目のCBが発動したときは、CB発動時刻から5分間立会を中断し、また、立会再開時はCB幅を拡張し、立会を開始する。
直前のCB幅に拡大値幅を加算した幅とする。

例: とうもろこしの場合

1回目のCB発動後 = 1,000 円(当初値幅) + 1,000 円(拡大値幅) = 2,000 円
2回目のCB発動後 = 2,000 円(直前のCB幅) + 1,000 円(拡大値幅) = 3,000 円

(2) 3回目以降のCBが発動したときは、CB幅を拡張せず(例: とうもろこし3,000 円のまま)、CB発動時刻から5分間中断した後、立会を開始する。
ただし、本取引所が必要と認めるときは、中断時間及び拡大値幅を変更することがある。

2. コメ、小豆の運用

(1) 1回目のCBが発動したときは、CB発動時刻から5分間立会を中断し、また、立会再開時はCB幅を拡張(※)し、立会を開始する。
(※)直前のCB幅に拡大値幅を加算した幅とする。

例: コメの場合

1回目のCB発動後 = 300 円(当初値幅) + 300 円(拡大値幅) = 600 円

(2) 2回目以降のCBが発動したときは、CB幅を拡張せず(600 円のまま)、CB発動時刻から5分間中断した後、立会を開始する。
ただし、本取引所が必要と認めるときは、中断時間及び拡大値幅を変更することがある。

以上